

5. 基盤整備の方針と取組み

主要基盤ごとの整備方針と内容を示す。

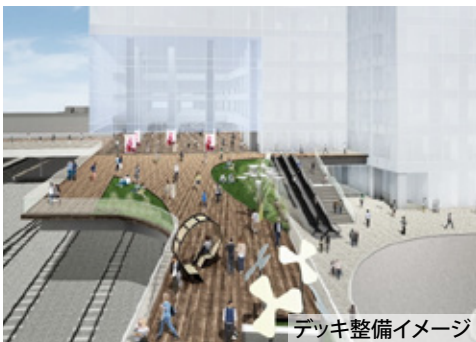
駅関連施設〔池袋駅コア・東池袋駅コア〕

- 【整備方針】**
- ・誰にとってもわかりやすく快適な駅空間の形成
 - ・鉄道路線間、各種交通モード間の乗換え利便性の向上
 - ・地下通路を含む駅空間の安全性、防災性の向上
- 【取組み】**
- ・周辺都市開発との連携による地下通路の拡幅・整序、避難経路の確保
 - ・地下通路と地上を結ぶ、新たな接続口（サンクンガーデン等）の整備
 - ・ホームの拡幅、ホームドアの設置
 - ・わかりやすい案内誘導サインの整備
 - ・バリアフリー基本構想に基づく、バリアフリー対策事業の推進
 - ・地下通路の防火対策と地上へつながる避難経路の機能強化
 - ・地下通路へつながる出入口での浸水防止対策の強化



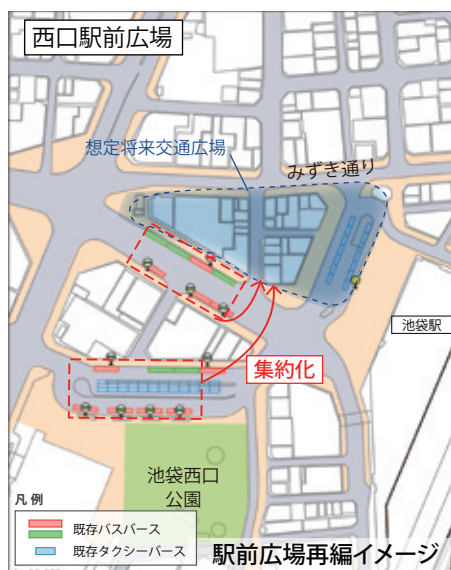
池袋駅東西連絡通路（北デッキ・南デッキ）〔池袋駅コア〕

- 【整備方針】**
- ・東西のまちとの重層的な接続による賑わいと歩行者回遊性の向上
 - ・新たな空間創出による、交流・発信機能の強化、防災性の向上
 - ・地下通路の慢性的な混雑や動線輻輳の緩和
- 【取組み】**
- ・〈北デッキ〉：東口駅前広場と西口駅前広場とを接続する歩行者動線（空間）整備
 - ・〈南デッキ〉：メトロポリタンプラザから明治通りまで接続する歩行者動線（空間）整備
 - ・北デッキ、南デッキと建物内動線の接続による、デッキレベル回遊空間の整備
 - ・周辺の都市開発と連動するデッキネットワークの整備
 - ・退避経路や一時退避場所として、安全に通行・滞留できる空間の確保
 - ・駅機能更新や周囲の施設更新との連携による一体的、効率的な整備計画



池袋駅東西駅前広場〔池袋駅コア〕

- 【整備方針】
- ・東京北西部の玄関口、池袋にふさわしい象徴的な「都市の顔」の形成
 - ・多様な交通モードに対応する交通結節機能の強化
 - ・災害時にも機能する、安全で快適な歩行者空間の拡大
- 【取組み】
- ・駅前広場と周辺施設で一体的に象徴的な都市空間を形成し、シンボリックな都市景観を演出
 - ・東西デッキ・地上・地下を結ぶ、駅まち結節空間の整備（東西都市軸との接続、サンクンガーデン整備等）
 - ・建物低層部には賑わい施設を配置し、周辺街区や街路との空間的なつながりを創出
 - ・路線バス、タクシー、LRT等の交通機能の集約配置
 - ・高速バス、観光バス等の交通ニーズへの対応
 - ・駅コアを起点とする新たな交通システム（LRT、電気バス等）の導入
 - ・周辺の街区再編や都市開発に併せた、関係者の連携による歩行者空間の拡大整備
 - ・〈東口〉：明治通りの車線減少（4車線→2車線）、南北ロータリー化による歩行者空間の拡大整備
 - ・〈東口〉：グリーン大通り（駅前～東口五差路交差点）の広場化
 - ・〈西口〉：地下通路、北デッキから交通広場や周辺街区へのシームレスな歩行者動線整備
 - ・〈西口〉：アゼリア通り（駅前～西口五差路交差点）の広場化
 - ・退避経路や一時退避場所として、安全に通行・滞留できる空間の確保
 - ・災害時の情報拠点として、情報提供機能を整備
 - ・交番等の防犯拠点を計画的に整備

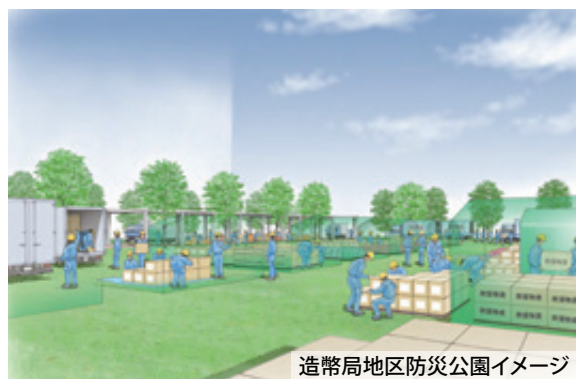


公園・環境施設

- 【整備方針】
- ・まちや公園の特徴を生かした、アート・カルチャーの活動拠点の育成
 - ・みどりのネットワーク形成による潤いのある豊かな都市空間の形成
 - ・地域冷暖房施設の拡大や未利用エネルギーの利用促進による都市の高効率化
- 【取組み】
- ・4つの都市計画公園（池袋西口公園、中池袋公園、南池袋公園、造幣局地区防災公園）の特徴を生かし、周囲の民間施設との連携による“アート・カルチャー・ハブ”の育成とマネジメント
 - ・4つの都市計画公園の連携と適切な維持管理
 - ・東西都市軸（みどりの骨格軸）を中心とした周辺道路や広場、民間敷地・建築物等における緑化空間の拡大
 - ・都市開発にあわせた地域冷暖房施設の区域拡大、清掃工場の排熱利用など未利用エネルギーの活用



南池袋公園



造幣局地区防災公園イメージ

歩行者回遊ネットワーク

- 【整備方針】
- ・まちの東西をつなぎ回遊の起点となる東西都市軸（みどりの骨格軸）の形成
 - ・エリアや沿道の特徴をいかした快適な歩行者回遊空間の拡充
 - ・“駅コア”や“アート・カルチャー・ハブ”の賑わいを広げるネットワークの形成
 - ・アート・カルチャー・ハブの機能を補完する多様な中継点の創出
- 【取組み】
- ・アート・カルチャー活動の拠点となる、東京芸術劇場や Hareza 池袋、サンシャインシティ等の施設や“アート・カルチャー・ハブ”をつなぐ歩行者動線、誘導機能の強化
 - ・辻空間（交差点等）や公民のオープンスペースを生かした、“アート・カルチャー・スポット”の整備
 - ・“アート・カルチャー・スポット”を結ぶ多様な歩行者回遊空間を創出
 - ・人々の回遊行動を支援する、新たな交通システム（LRT、電気バス等）の導入
 - ・見通しのある街路や施設では、視点場（都市景観を楽しむポイント）を確保



グリーン大通りのイメージ



南北区道のイメージ

道路ネットワーク・駐車場

- 【整備方針】
- 体系的な道路ネットワークの形成等による自動車流動の整序化
 - 誰もが利用しやすく、移動しやすい交通環境の実現
- 【取組み】
- 環状5の1号線の整備を契機とした通過経路の見直しや、池袋駅コア・ゾーン周辺部（縁辺部）でのフリンジ（集約）駐車場の整備等により、池袋駅コア・ゾーンへの自動車の進入を最小限に抑制
 - 西口五差路や東口五差路の変則交差点の改良整備
 - 都市開発と連携した整備により、域内駐車場、フリンジ（集約）駐車場、共同荷さばき駐車場を適正配置
 - 交通モードの切替え機能を有する“アート・カルチャー・ハブ”や“アート・カルチャー・スポット”の整備
 - 駐車場のネットワーク化、荷さばき等のルール化などの地域ルールの策定

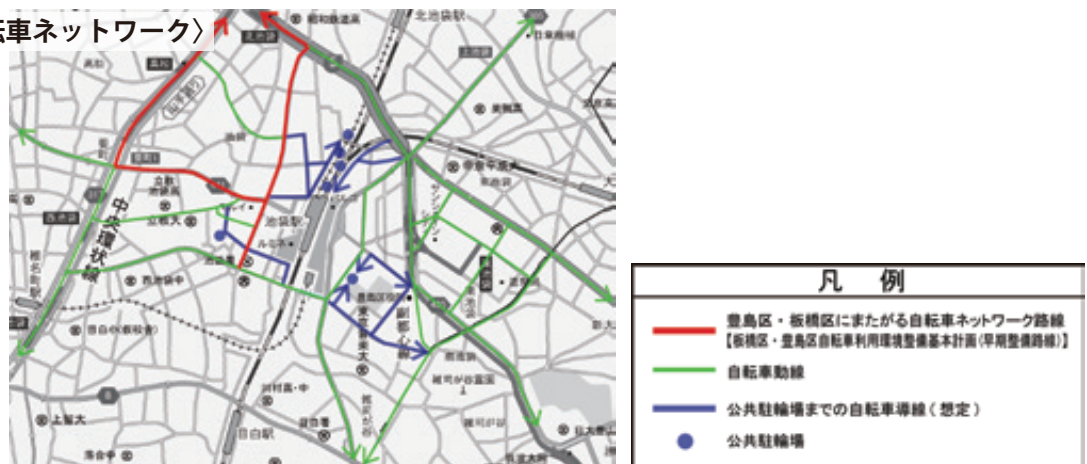
〈将来の広域自動車ネットワーク〉



自転車ネットワーク・駐輪場

- 【整備方針】
- 周辺地域からコアエリアへの自転車アクセス性の向上
 - 歩行者回遊空間に配慮した安全で快適な自転車ネットワークの形成
- 【取組み】
- 自転車ネットワーク及び利用環境に応じた自転車走行空間の整備
 - 東西連絡通路（北デッキ・南デッキ）整備に併せ、WEロードを活用した東西横断動線の強化
 - 自転車駐車場やシェアサイクル機能を有する“アート・カルチャー・ハブ”や“アート・カルチャー・スポット”の整備
 - 周辺都市開発と連携した自転車駐車場の整備

〈将来の広域自転車ネットワーク〉



防災・防犯施設

- 【整備方針】**
- ・池袋駅周辺地域都市再生安全確保計画に基づく、安全確保施設の充実・強化
 - ・木造住宅密集地域の解消による防災性の向上
 - ・災害時や非常時の情報発信及び情報連絡機能の強化
- 【取組み】**
- ・都市開発に合わせた細街路の解消、オープンスペースの確保
 - ・施設の耐震性の確保、自律分散型エネルギーの導入
 - ・一時待機場所、一時滞在施設の整備及び安全な避難経路の確保
 - ・備蓄倉庫・物資の確保、情報提供設備や非常時にも対応した常設トイレ等の整備
 - ・造幣局地区防災公園の整備（オープンスペースの整備、避難スペースの確保）
 - ・防災まちづくり事業の推進（造幣局南地区まちづくり、補助 81 号線沿道のまちづくり、東池袋 4,5 丁目のまちづくり）
 - ・発災時等の救護活動の障害となる電柱の撤去
 - ・多様な情報媒体と区の総合防災システムと連携体制の検討
 - ・交番等の防犯拠点や環境美化活動等の地域活動と“アート・カルチャー・ハブ”や“アート・カルチャー・スポット”との連携による防犯体制の強化

情報インフラ

- 【整備方針】**
- ・地区内の回遊を促す案内誘導システムの構築
 - ・災害時や非常時にも利用可能な情報提供体制、情報授受環境の構築
- 【取組み】**
- ・“アート・カルチャー・ハブ”や“アート・カルチャー・スポット”を活用した、わかりやすいまちなか案内誘導サインや Wi-Fi 環境の整備
 - ・アート・カルチャー活動に関する情報を集約し発信する情報システムの整備
 - ・多様な情報媒体と区の総合防災システムと連携体制の検討

